

規格情報小委員会 終了報告

主要な活動目的

- ①構造工学委員会で進められている示方書連絡会などの成果や、他関連学協会における基準類の標準化過程を整理し、規格・指針・技術資料等に対して、客観性・透明性を確保するための標準化のあり方を検討する。
- ②原子力関係の他学協会での活動情報に関する情報を委員会内で共有化する。
- ③関連国際規格の整理と情報公開、関係国際規格の作成支援、関係国際学会における国内規格の公開企画などを実施する。
- ④原子力土木構造物の包括的安全性／リスク評価に関する原則を作成するための検討を実施する。
- ⑤現行の原子力災害対策指針等に含まれる課題の整理。主要な課題と考えられる対応事項、例えば避難についての課題を解決するために必要な方策をまとめ、土木工学の役割、分野連携として工学的に取り組むべき事項を明確にする。

これまでの委員会活動（幹事会：計7回，委員会：計4回，WG：計3回）

年月日	会議名	審議内容
2021年2月19日	2020年度第1回幹事会	活動目的・活動体制・活動期間
2021年4月16日	2020年度第1回委員会	活動目的・活動体制・活動期間
2021年5月10日	2020年度第2回幹事会	関係学協会の規則・WGの進め方
2021年6月3日	2020年度第3回幹事会	技術文書公開の考え方
2021年7月2日	2021年度第1回幹事会	検討の基本方針・運営内規（案）
2021年8月3日	2021年度第1回 公表資料標準化WG	検討の基本方針・運営内規（案）
2021年8月24日	2021年度第2回幹事会	検討の基本方針・運営内規（案） 原子力土木委員会の活動方針（案）
2021年9月22日	2021年度第1回委員会	検討の基本方針・運営内規（案） 原子力土木委員会の活動方針（案）
2021年11月26日	2021年度第3回幹事会	各小委員会からの意見対応
2022年1月21日	2021年度第1回 包括的安全性評価WG	検討の基本方針・運営内規（案）
2022年2月10日	2021年度第4回幹事会	原子力土木委員会からの意見対応
2022年2月24日	2021年度第2回 公表資料標準化WG	活動方針（案），運営内規（案）

これまでの委員会活動（幹事会：計7回，委員会：計5回，WG：計10回）

年月日	会議名	審議内容
2022年3月11日	2021年度第2回委員会	検討の基本方針・運営内規（案） 原子力土木委員会の活動方針（案）
2022年5月9日	2021年度第2回 包括的安全性評価WG	活動目的・活動体制・活動期間
2022年5月30日	2021年度第3回 公表資料標準化WG	検討の基本方針・運営内規（案）
2022年7月27日	2022年度第1回委員会	タスク細則（案）・運営内規（案）
2023年8月23日	2023年度第1回 現状分析・整理分析WG	原子力防災に関する基準と体等
2023年10月30日	2023年度第2回 現状分析・整理分析WG	話題提供「福井県の原子力防災, 原子力防 災支援技術(TiPEEZ)」について
2023年12月10日	2023年度第3回 現状分析・整理分析WG	複合災害時の原子力防災対応における避難 の課題と論点の議論
2021年1月29日	2023年度第1回委員会	活動修了報告, 小委員会提案
2024年2月16日	2023年度第4回 現状分析・整理分析WG	話題提供「原子力防災等に関する考察」に ついて
2024年5月22日	2023年度第5回 現状分析・整理分析WG	報告書のとりまとめと今後のスケジュール

原子力防災の現状分析と土木分野の果たす役割の整理分析WGの成果：報告書

1. はじめに

2. 原子力防災WGの活動状況と避難に係る論点整理と課題抽出の基本的考え方

2. 1 原子力防災WGの活動

2. 2 避難に係る論点整理と課題抽出の基本的考え方

3. 複合災害時における原子力防災の避難に係る情報の整理

3. 1 地域防災計画・避難計画の策定支援の仕組みと国内外の基規準類の概要

3.1.1地域防災計画・避難計画の策定支援の仕組み

3.1.2国内外の基規準類の概要

3.1.3国内の原子力防災関連の規準/指針等の現状

3. 2 国内の複合災害時の原子力防災計画に係る訴訟

3. 3 福島事故調査報告書における住民避難に係る情報の整理

3. 4 衆議院・参議院における福島事故後の原子力防災に関する審議状況

3. 5 原子力立地自治体における福島事故後の地域防災計画

原子力防災編，避難計画の検証状況と提言

3. 6 海外の原子力防災関連の基規準類の現状

4. 複合災害時の原子力防災に係る連関図に基づく論点・課題の整理

4. 1 連関図作成の対象とする論点・課題に係る情報

4. 2 対象論点・課題の情報の連関図へのプロット

4. 3 論点・課題の整理

5. 対応すべき論点・課題の抽出とそれらの概要と対応の考え方

5. 1 対応すべき論点・課題の抽出

5. 2 抽出した課題の概要と対応の考え方

6. 令和6年能登地震を踏まえた確認・見直し・追加の検討

7. 1 令和6年能登地震の概要(被害も含む)

7. 2 令和6年能登地震を踏まえた原子力規制委員会の動向

7. 3 令和6年能登地震を踏まえた複合防災避難に係る市民との対話の現状

7. 4 原子力土木委員会令和6年能登地震被害調査団による調査の概要

7. 5 令和6年能登地震を踏まえた確認・見直し・追加の検討

7. 今後の活動

参考文献

活動終了報告

- 規格情報小委員会：2024年1月29日に開催し、1年延長した活動を終了する。
- 公表資料標準化WG（WG1）：技術文書・審議タスク、技術多様化・普及タスクに活動を移行済み
- 包括的安全性評価WG(WG2)：原子力土木委員会としての活動は終了する。
- 原子力防災の現状分析と土木分野の果たす役割の整理分析WG(WG3)：
 - 報告書の公開。
 - 次年度以降、WGの成果を踏まえ「複合災害下での原子力防災における避難の課題と対応に関する研究小委員会」として活動し、避難をより住民主体とするための対応が不明確、不十分な事項について実施手順と解説などの取り纏めを行うことを提案する。